

事務事業名	公園等維持管理事業				担当	建設部 都市計画課 維持管理係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8724		
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	真岡市公園条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和61 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	4. 都市計画費	4. 公園管理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	市民の安らぎと憩いの場である公園（83箇所）、公衆便所（109箇所）、駅前広場等（17箇所）、緑地等（7箇所）街路樹等（73路線）における除草、清掃等及び各種施設の補修等を実施し、適正な維持管理を行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 23年度実績 主に、公園・街路樹等の除草及び清掃については、シルバー人材センター等に委託、公衆便所等については民間業者委託、その他現業職員による直営維持管理を実施。 また、一部公園の除草、清掃等を愛護会等が維持管理実施。  24年度計画 23年度と同様に実施する。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	公園・公衆便所等の公共施設の数	箇所	256	293	298	289	291	
	イ	公園・公衆便所等の清掃、管理及び修理の発注数	件	262	219	255	208	220	
	ウ								
エ									
オ									
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 公園、公衆便所、街路樹等の公共施設	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	公共施設利用対象数	箇所	256	293	298	289	291	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 良好な公共施設の清掃、管理の維持を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	公共施設の清掃及び維持管理の数	箇所	256	293	298	289	291	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	真岡市をきれいなまちと感じる市民の割合	%	73.2	73.4	74.0	70.2	75.0	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			一般財源	千円	69,469	83,387	82,062	82,751	0
			事業費計(A)	千円	69,469	83,387	82,062	82,751	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	0		
	延べ業務時間	時間	3,900	5,200	5,200	5,200	0		
	人件費計(B)	千円	16,294	21,091	22,194	22,058	0		
トータルコスト(A)+(B)			千円	85,763	104,478	104,256	104,809	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	区画整理事業の増加とともに、整備を要する公園や街路等の箇所が増加したことにより、維持管理を実施する。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年3月に二宮町との合併に伴い維持管理箇所数が増加した。 また、最近はいたずらによる公衆便所の破損件数が増加している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	概ね全般的には、維持管理が行き届いていると好評であるが、市民や区長から施設等（遊具）の更新の要望も出ている。また市民から街路樹については落葉、害虫、日陰による苦情もある。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 安全で快適な公共施設の維持管理をしているため、結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設であるため、市で実施するのが妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 対象が全て公共施設であるため、限定することはできない。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 委託化できる業務は全て委託しており、向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 維持管理ができなくなり、施設が荒廃し、市民利用に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 各施設に対し、適切な維持管理をしているため削減余地なし。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 現在、現業職員は最少人数で維持管理を行っており、削減余地なし。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公共施設であるため、全市民が利用しており、公平公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性 ) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							